

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
467	児童館事業	会計	01	一般会計	
8	子どもを産み育てやすい環境をつくる	款	03	民生費	
		項	04	児童福祉費	
		目	05	児童館費	
		細目	101	児童館管理運営事業	
		細々目	02	児童館事業経費	
担当部課名	青山文化センター				
作成者氏名	奥永悦子	連絡先	55-2411		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	児童館の対象とする地区住民	児童が健全に育ち人権感覚が豊かになっている。				
本年度事業内容	学習会(人権、平和、環境、情報など)の開催や体験活動(野菜づくり、製作、社会見学など)を通じて、仲間づくりを進め、自己を大切に他者も大切にできる豊かな人権感覚を養う。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	78	191	240
報償費	15	20	20
需用費	39	30	30
使用料及び賃借料	14	131	180
その他	10	10	10
合計(A+B)	2,958	3,071	3,120
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,958	3,071	3,120
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
やまびこサークルに参加する児童数(対象児童のうち)	人	27	32	36			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
やまびこサークルの参加児童数(対象児童のうち)	多くの児童が参加することで、健やかに育つ児童の割合が増加することからこれを指標とする。	人	27 目標 ()	32	36
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

地域ぐるみで人権感覚豊かな人間関係を築くことが同和問題を解決する上で大きな効果をもたらすことから、子どもや保護者が正しい認識を持って同和問題に向かう基盤をつくるために、参加対象児童のうちで活動に参加していない児童を誘導していく必要がある。そのために、活動の様子や子どもたちの声をやまびこサークル通信などで情報発信するとともに、機会をとらえて声をかけていく。

評価	必要性	4	やまびこサークルに参加する児童が、学習会等とおして人権感覚豊かに育ち、保護者の交流から地域の教育力を上げる基盤がつけられている。子どもとともに保護者の繋がりを広げたいという地域の要望もあり継続して実施する。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	3		